

領域	専門基礎分野	授業科目	保健医療論	単位 (授業時間/時間数)	1 (14/15)
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業回数	7回
担当講師名	非常勤講師		講師所属		
特記事項	—			—	

授業のねらい

医療技術の進歩と新しい社会規範に即した現代医療の役割と位置づけを理解することで、看護職の果たす役割と可能性を知り、看護専門職としての視野を広げられるように教授する。

授業目標

保健・医療・福祉の現状と抱えている問題点、その問題発生背景を知り、専門職として社会に貢献する方向性、視点について学ぶ。

授業概要

1. 医療の進歩と医の倫理
 - A 医療に関する誓約、規範などにみる倫理の歴史的あゆみ
 - B 現代医療における倫理
 - C バイオエシックス (生命倫理)
 - D 先端医療と医学・医療のあゆみ倫理問題
 - E 臨床医学研究と倫理
2. 医療における患者の権利
 - A 患者の権利尊重の医療背景
 - B 患者の権利主張とその承認
 - C 患者の自己決定権
3. 病状 (真実) の告知
 - A 死の告知について
 - B 癌告知における 1990 年頃までの日・米の相違とその後
 - C 致死を知った患者の反応
 - D 死の告知と死の受容と医師の責務
4. 脳死と臓器移植
 - A 脳死・新しい死の概念
 - B 脳死は人の死 (個体死) かの論議
 - C 脳死・臓器移植に関する法的整備
 - D 残されている法的・倫理的問題点
5. 死と生命維持、安楽死、死を共有する医療
 - A 臨死患者
 - B 死の解釈と問題点
 - C 死への対応・ターミナルケア
 - D 安楽死
 - E 尊厳死・消極的安楽死・自然死
 - F ホスピス

授業の進め方

講義

教科書

新体系 看護学全書 現代医療論 健康支援と社会保障制度① (メヂカルフレンド社)

参考図書

評価方法

終講時 客観式テスト (100点)

試験時間は時間数に含む。